

とちぎYMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

- NO.410 2026
- APRIL

YMCA News

4



2026年4月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒321-0904
宇都宮市陽東4-18-30
TEL:028-624-2546
FAX:028-624-2489
<https://www.tochigiymca.org>
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA

「平和をつくるひとは幸いである」 — おもしろがる心、平和をつくる心 —

平和は遠くにある理想ではなく、私たちの心の構えから静かに始まっていくものです。

ドイツの詩人ゲーテの格言に、「機嫌の悪さは人間の徳を破壊する」という言葉があります。少し強い表現ですが、私たちの日常にも思い当たるところがあるのではないのでしょうか。不機嫌という心の「構え」でいると、せっかくのおいしい食べ物もおもしろく感じられず、人から受けた親切にも素直に感謝できなくなることがあります。不機嫌という構えは、人生の楽しみを遠ざけ、私たちが本来持っている思いやりや感謝といった徳を弱めてしまうことがあります。

私たちは日ごろ、「おもしろい」という言葉をよく使います。「この話はおもしろい」「今日はあまりおもしろくなかった」などです。けれども、そのおもしろさは出来事そのものから生まれることもあれば、「おもしろがる」という心の構えによって生まれることもあります。「おもしろがる」とする気持ちがあれば、同じ出来事でも興味深く感じられますし、そうでなければ、どんなことも退屈に思えてしまうことがあります。このように私たちは、出来事そのものだけでなく、自分の心の構えによって世界の見え方を変える力を持っているのです。

今年の年間聖句は「平和をつくるひとは幸いである」(マタイによる福音書5章9節)です。私たちは平和を願います。争いのない世界、安心して暮らせる社会を望むのは自然なことです。しかしイエスは、「平和な世界」そのもの以上に、たとえ争いや混乱の中にあっても「平和をつくる人」に幸いがあると語りました。平和は、どこから与えられるものというよりも、人と人とのあいだの心の構えの中から育まれていくものだ教えているのです。

世界を見渡すと、「平和」という言葉が力とともに語られる場面があります。大国が経済や軍事の力を背景に「平和のための介入」を行い、多くの命が失われている現実もあります。力によって秩序を保とうとする試みは、歴史の中で繰り返され

てきました。しかし、力によって静けさを生み出すことと、人と人とのあいだに平和を築くことは同じではありません。本当の平和は、私たち一人ひとりの心の構えからすでに始まっているのです。

異なる文化や言葉、歴史が出会うとき、また一人の人が別の誰かと出会うとき、そこには緊張や誤解が生まれることもあります。しかし、理解しようとする心が働くとき、新しい関係が生まれていきます。YMCAの営みは、そのような出会いの積み重ねの中にあります。子どもたちとの出会い、地域の人々とのつながり、そして国や文化を越えた交流。その一つひとつは決して大きな出来事ではありませんが、その出会いの中で「平和をつくる」姿勢が育まれ、小さな平和が静かに形づくられていくのです。

イエスは山上の説教の中で、世の価値観とは少し違う祝福を語りました。強さよりも柔和さを、満ち足りていることよりも心のへりくだりを、そして平和をつくる歩みを祝福されたのです。力が勝利が重んじられがちな世の中で、人と人をつなぎ、関係を回復しようとする「構え」こそが尊いのだと教えているように思います。

面白い出来事を待つよりも、おもしろがる心を持って世界を面白くしていくこと。同じように、平和をただ待つのではなく、平和をつくる人として歩むこと。その小さな心の持ち方が、私たちの出会いを変え、やがて世界を少しずつよくしていくのではないのでしょうか。

とちぎYMCAは今年も、「おもしろがる心」と「平和をつくる心」を大切にしながら、多くの方々とのおわりの中で小さな平和を育てていきたいと思っています。

小さな心の「構え」が、やがて世界を静かに、大きく変えていくと信じて。

とちぎYMCA 総理事
塩澤 達俊

とちぎYMCAの使命

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2026年度 とちぎYMCA年間聖句

「平和をつくる人は幸いである」

新約聖書 マタイによる福音書 第5章9節
《山上の垂訓 幸いの言葉》より



細谷小 子どもの家 新年度に向けて



4月は新1年生を迎えて新たな年度のスタートです。アドベンチャークラブでは新年度を迎える準備を1月末から始めていました。縦割りの活動班の班長が3年生から2年生へ、副班長が2年生から1年生へとパトタッチ。班のメンバーをまとめたり、おやつのお挨拶や朝の会・帰りの会の司会など活動を引き継ぐ上級生の姿に憧れて、自分達も上級生に近づけるようにと頑張っています。

また、新1年生をどのように迎えるかと班ごとに話し合いをしました。花や輪飾りで部屋を飾り付けよう、手作りメダルをプレゼントしたい、一緒に工作をしたい、皆で楽しく遊ぶことのできるゲームをしたい等、様々な意見が出て準備を進めてきました。不安や緊張している1年生へはどのように接するかを考えたりと上級生になる意識を高めながら、学年が上がることを楽しみにしているようです。

新たな子ども達が加わり、今年度はどんなアドベンチャークラブになるのでしょうか。とても楽しみです。

ようとう保育園

新年度もよろしく お願いします！



開設当初の数年間ようとう保育園で働き、退職後クラス担任としては久々の復帰となります。今までの保育経験と海外の教育現場を見て培った感覚を生かしつつ、また新たに一人ひとりに合わせた関わりを大切に、保育園での生活が楽しく安心できるものとなるよう、子どもたちと一緒に遊び、一緒に考えながら、日々の保育を充実させていきたいと思っています。

あきえ先生

2026年度4月よりつばめ組（2歳児）担任になりました。ようとう保育園の子どもたちは体を思いっきり動かして友だちと”楽しい！”を共有することが大好きなのだと感じています。私も体を動かす遊びや歌うこと、絵本が大好きなのでみんなと充実した時間を過ごせることを楽しみにしています。また、お子様の育ちを保護者の皆様と共に見られますこと、心から嬉しく思います。一生懸命努めていきますので、よろしくお願いいたします。

ともか先生

宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

ピンクシャツデー 折り紙Tシャツ メッセージ企画



新年度を迎え、とちぎYMCAがまちぴあの指定管理を受けてからちょうど1年が経ちました。本年度もさまざまな活動を展開していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2月はピンクシャツデー月間でした。大きなピンクのハートの中に、折り紙で作ったカラフルなTシャツを貼り、そこにメッセージを書いてもらいました。

「いじめをなくそう」や「誰もが笑顔でいられる社会になりますように」など子どもたちが書いてくれた温かい言葉が溢れ、素敵な作品となりました。今年のとちぎYMCAのピンクシャツデーのテーマは「こころのピンクシャツ」でした。全員がピンクに揃えるのもいいけれど、個性を活かして好きな色で自分を表現するのもいいね。大切なのは心の中で、色や形にこだわるのではなく、互いを思いやり、みんなが繋がっていることを感じられるようになればいいということです。

みなさんが作ってくれたカラフルな折り紙Tシャツとメッセージが、その想いを表現してくれました！いじめがなくなる世界になることを祈っています。

宇都宮市青少年活動センター トライ東

新年度のご挨拶



宇都宮市青少年活動センター「トライ東」は令和8年度も青少年の方々の居場所でありたいと思っています。単なる施設の貸館の役割だけでなく、気軽に集まり、交流し、新しいことに挑戦できるさまざまなイベントを開催しています。

フィットネスや音楽、料理、文化・教養などのセミナーのほか、青少年イベント、ロビーで開催しているトラインピックやボードゲームの貸し出しなど、「ちょっと気になるね」「とりあえず行ってみようか」と思わず友達を誘いたくなるような企画をご用意しております。初めての方でも参加しやすい雰囲気、学校や学年が違う仲間と出会えるのもトライ東の魅力の一つです。イベントをきっかけに新しい仲間に出会えることもあり、放課後や休日の『ちょっと寄れる場所』としてたくさんの方にご利用いただいております。

気軽な一歩が新しい出会いや体験につながるかもしれません。新年度もぜひトライ東に遊びに来てくださいね。

さくらんぼ幼稚園

さくらんぼ便り



4月1日から、2026年度がスタートしました。ご入園おめでとうございます。入園して間もない毎日、園内あちらこちらから、泣き声が聞こえてきます。この声を聞くと新年度が始まった！と背筋が伸びます。これからも、子どもたちが自信をもって前に歩いていけるよう、ご家庭と園とで手を取り合って成長を見守っていきたくと思っています。

泣き声から笑い声が園内に響く毎日になるよう今年度も教職員一同、力と心を合わせて子どもたちにとっての楽しい「さくらんぼ幼稚園」になるよう努めて参ります。

国際

チャリティー ピックルボール 体験会&交流会 ご報告



この度、2月23日に開催いたしました「チャリティーピックルボール体験会&交流会」は、おかげさまで多くの方々にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。当日は、お子様からシニアまで幅広い年齢層が集まり、世代を超えた交流が実現いたしました。初心者の方もすぐにラリーが続くようになり、コートには終始笑顔と歓声があふれていたのが印象的でした。

熱心にご指導いただいたP-REX様、宇都宮ピックルボールFUN FAN様関係者のボランティアインストラクターの皆さま、ユースボランティアの皆さま、そしてクラウドファンディングを通して温かいご寄付を寄せてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。参加費の43,000円、クラウドファンディングからイベントの支出を引いた残り、61,515円、寄付（コーヒー、おでん売り上げ等）17,200円の合計121,715円をとちぎYMCA国際協力募金に寄付させていただきます。改めまして、皆さまに厚くお礼申し上げます。

招待 富士山キャンプ「ふじさんぽ」報告

3月7日 (土)

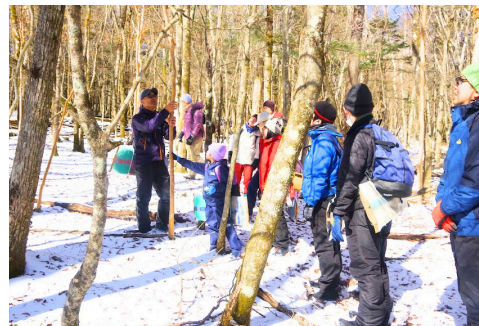
宿泊先の静岡県御殿場市・日本YMCA東山荘へバスで向かう途中、東名高速道路から見える、雪で覆われた雄大な富士山の姿に参加者一同、息をのみ、感動しました。東山荘職員の方には笑顔でお出迎えいただき、気持ちよく活動を始められました。富士山の大自然の下でレクチャーを受け、夕食後は、ネイチャープログラム担当サルリーダー考案のレクリエーションに参加。体育館が笑い声に包まれ、賑やかな時間を過ごしました。

3月8日 (日)

レインウェア・冬帽子・長靴に身を包みリュックを背負い準備万端！車の中で、サルリーダーから活動に関する説明を受けながら5合目付近に移動。サルリーダー特製のサルボード（ソリ）を各々のリュックに付けて、さんぽ開始です！

鹿や鳥の鳴き声が聞こえてきたり、ウサギやキツネ・鹿の足跡を見つけ、動物の存在を身近に感じながら標高1600m付近に到着。下山は、サルボードで滑ったり、転んだりしながら和気あいあいと歩きました。子どもたちが作った雪だるまに「また来るまで待っててね」と名残惜しそうに声を掛ける姿も見られました。

富士の大自然の中で冬と春を感じながら、貴重な体験と達成感を味わうことができました。チャリティーランにご支援・ご協力をくださった皆様への感謝があふれる「ふじさんぽ」となりました。



グローバルスタディキャンプ in フィリピン2026 ～フィリピンの若者と共に考え、共に学ぶ～

日本の抱える課題やフィリピンにある課題を知り、自らの社会をより良くするために
できることについて学び合いましょう。

日程：2026年8月8日(土)～8月15日(土)の7泊8日

**対象：15歳以上の男女で国際交流・協力に関心があり、
心身ともに健康で協調性のある者**

費用：【一般】 230,000円

(プログラム費120,000円・旅行代金110,000円)

【学生】 190,000円

(プログラム費80,000円・旅行代金110,000円)

※学生にはYMCAより補助が出るため、上記の金額となります。

申込締切：2026年4月30日(木)

興味のある方は、オンライン説明会にご参加ください(予約制)

2026年4月3日(金)19:30～20:30

※個別説明会も可能です

【問合せ】公益財団法人とちぎ YMCA 担当：小野寺

(電話) 028-661-7451

E-mail: info-international@tohigi-ymca.org

2026年8月8日出発 (7泊8日) 成田発着

グローバルスタディキャンプ in フィリピン

「世界の子ども食堂」から学ぶ

オンライン説明会 要予約

3月15日(日) 9:00～10:00

4月3日(金) 19:30～20:30

参加申し込みは4月30日(木)まで

個別説明会可能!



←詳細は
こちらから

SDGs学習参考書譲渡プロジェクト

不要になった学習参考書の回収を行います。

“捨てる”から“つなぐ”へ。やさしい循環にぜひご協力ください。

期間：2026年4月24日(金)まで

回収場所：YMCA各拠点内

回収できる参考書の条件

- 中学・高校の教科書 ■ 市販の参考書 ■ 市販の問題集(解答付き)
- 資格検定本(英検・漢検など) ■ 辞書・辞典

● ISBNがついている書籍が対象です ● 書き込みがしてあってもOK

回収した書籍は、4月29日(水)から宇都宮市東図書館で必要な方に無料譲渡されます。

皆様のご協力をお待ちしております。



塩澤総主事の、

VOL



#エイプリルフール #入社式 #カイトス

4月1日の入社式、やめます！（エイプリルフールではありません）

今年のとちぎYMCAの4月1日は、いつもと少し違います。長く続けてきたグループ全体の「就業礼拝」を、今年には行わないことにしました。一般の企業でいえば入社式にあたるものですが、その形を見直すことにしたのです。もちろん、新しく加わる仲間を歓迎しないわけではありません。各職場では、祈りとともに新しい職員を迎えるお祝いの機会を持ちます。ただ、「4月1日に全員が一斉に集まる」という形は取らないことにしました。

理由は働き方の変化です。近年は年度途中で入職する方が増え、新卒採用も以前ほど多くなく、部門によっては新卒がいない年もあります。途中から加わる方が大勢いらっしゃるのに、4月1日だけが特別な「始まりの日」であることに、参加者の方々も多少違和感を覚えるようになりました。

そこで今年からは発想を変え、6月ごろにとちぎYMCA全体の研修を設け、その場で新しく仲間となった方々を紹介する予定です。少し時間がたってから顔を合わせ、互いを知る。そんな出会い方も悪くないと思うのです。

時間には「クロノス」と「カイロス」という二つの捉え方があると言われる。時計やカレンダーが刻む均一な時間の流れがクロノスなら、人間に出来事として訪れる「時」がカイロスです。

考えてみれば、「みんなが同じ日に一斉に始める」という時間の区切りは、社会が作ってきた一つの約束に過ぎないかもしれません。一人ひとりの歩みには、それぞれの始まりがあり、それぞれの節目があります。

旧約聖書には「何事にも定められた時があり、すべての営みには時がある」という個所があり、「生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時、泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時…」と続きます。

「始まりの日は、ひとつではない。」

いつからでも始められ、途中から加わることもできる。そんな時間の流れも、これからの働き方や学び方、生き方には合っているのかもしれない。

今年はそんな自由自在な感覚も大切に、新しい仲間と歩んでいきたいと思います。



維持会員
法人会員

とちぎYMCA 維持会員・法人会員

募集中

現在の《とちぎYMCA》は、社会の資金で賄われる制度事業の“外側”に新しい活動”を拡げております。

官と民間の活動をあわせもつYMCAですが、みなさまからの貴重な寄付によって、フレキシブルで、創造的で、ボランティアな部分を表現する最もYMCAらしい活動を継続することができます。みなさまのお支えによって続けられますことに感謝申し上げます。

【新規申込み方法】

- ☐ お電話 (028-624-2546) 資料をお送りいたします。
 - ☐ ホームページより (QR コード)
 - ☐ 各YMCA 事務所にて
- 【継続申し込み】
- 維持会員費をお支払いください。
 - ☐ ホームページより (QR コード)
 - ☐ 各YMCA 事務所にて



希望ある豊かな社会に。
平和を実現していくチカラに。
「よくなる」連鎖をYMCAと。